

心の糧を朗読ライブで

「大切な言葉がたくさんある」

辰巳琢郎さんら被災地初公演

俳優の辰巳琢郎さんと南なるさんによる朗読ライブ「星の王子さま」が2日、釜石市小佐野町の小佐野コミュニティ会館で開かれた。東日本大震災復興支援のための芸能関係者の集まり「office1373（いざなみ）」（南なる代表）がプロデュースする活動で、被災地での公演は初めて。市内外から訪れた150人が、表現豊かに語られる物語の世界に引き込まれた。



公演後は出演者と来場者が笑顔で記念撮影

フランス出身の作家、サン・テグジュペリが原作者の「星の王子さま」。ライブでは登場人物の飛行士役を辰巳さん、王子さま役を南さんが務め、それぞれのいでたちで登場。王子さまが会おうキツネやヘビ、バラの花役も2人で分担し「肝心なことは目に見えない。心で感じて」など物語に込められたメッセージを伝えた。

映画やテレビドラマの監督として活躍する井坂聡さんが脚色・演出を担当。東邦音楽大



さまざまな声を演じ分け「星の王子さま」を朗読する辰巳琢郎さん（右）と南なるさん

学出身の南さんの先輩でピアニストの中島剛さんが、美しいピアノの旋律でライブを盛り上げた。

小佐野町の川崎和子さん（70）は「物語の詳しい内容を知らなかったの、じっくり聞けて良かった。素晴らしい朗読で、王子さまとヘビの場面が心に残った。辰巳さんはとても格好いい」と話した。

「この物語には大切な言葉がたくさんある。きっとみなさんの心に届いたのでは。ピアノのやさしい音色とともにリラックスしたり心が温かくなったり、喜んでいるだけだったらうれしい」と南さん。いろいろ調べて知れば知るほど大好きになったという釜石の人たちの幸せを願っていた。



住民大喜



「仮設団地の子ともがい

4人で暮らす岩崎廉務さん（34）の住宅では、なまはげが足を踏み入れる前から心配を感じた長女の結菜ちゃん（3）が大泣き。一方で、なまはげに抱え上げられた長男の暖君（5）は「こわくないよ」と大喜



団地内の小川地区サポートセンター（浅野文恵センター長）では、大勢の住民が見守る中、長老役に据えられた菊池政広さん（71）が地酒を振る舞って歓待。な